

**2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）**

2024年11月6日

上場会社名 株式会社スカパーJ S A Tホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 9412 URL <https://www.skyperfectjsat.space/>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 米倉 英一  
 問合せ先責任者（役職名） 経営企画部長（氏名） 久保 勲（TEL）03-5571-1500  
 半期報告書提出予定日 2024年11月8日 配当支払開始予定日 2024年12月6日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

**1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）**
**（1）連結経営成績（累計）**

（%表示は、対前年中間期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	61,016	0.9	13,876	3.5	14,025	1.3	9,715	13.6
2024年3月期中間期	60,498	4.3	13,401	20.2	13,839	18.9	8,555	11.1

（注）包括利益 2025年3月期中間期 9,496百万円（△11.4%） 2024年3月期中間期 10,716百万円（5.5%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	34.30	—
2024年3月期中間期	29.47	—

**（2）連結財政状態**

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	405,549	278,715	68.2	975.89
2024年3月期	405,411	271,982	66.7	953.99

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 276,526百万円 2024年3月期 270,221百万円

**2. 配当の状況**

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	10.00	—	11.00	21.00
2025年3月期	—	11.00			
2025年3月期（予想）			—	11.00	22.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

**3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）**

（%表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	123,300	1.2	25,800	△2.8	26,200	△3.4	18,000	1.5

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有  
新規 1 社 (社名) 株式会社スカパー・ピクチャーズ、除外 1 社

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期中間期	297,681,264株	2024年3月期	297,578,423株
2025年3月期中間期	14,323,086株	2024年3月期	14,323,086株
2025年3月期中間期	283,296,922株	2024年3月期中間期	290,339,371株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P. 5 「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 中間連結貸借対照表	6
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	8
中間連結損益計算書	8
中間連結包括利益計算書	9
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

## 1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

なお、本文中の記載金額は、億円単位の表示は億円未満四捨五入とし、百万円単位の表示は百万円未満切捨てとしております。

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、個人消費に足踏が残るものの、緩やかに回復しております。

当社グループを取り巻く環境としては、宇宙事業の分野では船舶・航空機向けの移動体衛星通信や多岐にわたる分野での衛星データ利活用の需要が拡大しております。また、大規模な低軌道衛星コンステレーションによる通信サービスが本格的に開始され、価格及びサービスの競争が激化する等ビジネスの環境が大きく変化しております。

メディア事業の分野では、有料放送市場でのマイナス成長や動画配信サービス市場での事業者の合従連衡やサービス間の連携もみられる等、厳しい市場環境が続いております。

このような経済状況の下、当中間連結会計期間における当社グループの経営成績は次のとおりとなりました。

区分	前中間連結 会計期間 (百万円)	当中間連結 会計期間 (百万円)	前年同期比 (百万円)	増減率 (%)
営業収益	60,498	61,016	517	0.9%
営業利益	13,401	13,876	474	3.5%
経常利益	13,839	14,025	186	1.3%
税金等調整前中間純利益	12,997	14,378	1,381	10.6%
親会社株主に帰属する中間純利益	8,555	9,715	1,160	13.6%

なお、EBITDAは前年同期比11億円増加し、247億円となっております。

(注) EBITDAは、親会社株主に帰属する中間純利益、法人税等合計、支払利息、減価償却費の合計として算定しております。

当社グループのセグメント別の概況は次のとおりです。(経営成績については、セグメント間の内部営業収益等を含めて記載しております。)

#### <宇宙事業>

##### (通信関連事業)

既存顧客との長期契約締結による国内衛星通信事業の基盤強化として、東日本高速道路㈱、中日本高速道路㈱、西日本高速道路㈱との間で、10年間の次期衛星通信サービス契約を締結いたしました。

将来のグローバル・モバイル分野を中心とする成長市場の通信需要に対応するため、Thales Alenia Space France社との間でフルデジタル衛星(軌道上でカバーエリアや伝送容量を柔軟に変更することで極めて自由度の高い通信サービスを行う能力を有する大容量衛星)「JSAT-31」の調達契約を締結いたしました。既存衛星に現在調達中の新衛星「Superbird-9」および「JSAT-31」を加えた大容量衛星フリートにより、革新的な次世代通信サービスを展開してまいります。

##### (スペースインテリジェンス事業)

衛星画像販売サービスの収益拡大に向けて、政府向け衛星画像提供に関わる新たな契約を締結致しました。

##### (開拓領域)

新たな技術を用いたサービスの事業化について、以下の取り組みを実施いたしました。

HAPS(高高度プラットフォーム)を用いた通信ネットワークの早期商用化に向けて、日本電信電話㈱との合弁会社㈱Space Compassは、㈱NTTドコモとともに、Airbus Defense and Space社およびAALTO HAPS社との資本業務提携に合意いたしました。本資本業務提携を通して、宇宙RAN(Radio Access Network)事業のサービス実現を加速してまいります。また、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が公募した「経済安全保障重要技術育成プログラム」における「HAPSによるリモートセンシングを用いたMDA(海洋状況把握)システムと運航管理技術の開発・実証」に、新明和工業㈱、㈱三菱総合研究所とともに採択されました。HAPSを活用したリモートセンシング実現に向けた取り組みも進めてまいります。

(株)Orbital Lasersにおいては、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(以下「JAXA」)と「高度計ライダー衛星 衛星システム/衛星運用システム概念設計」に関する研究開発契約を締結致しました。JAXAが研究開発を進める高度計ライダー衛星に係る概念設計に取り組みつつ、将来の高度計ライダー衛星を活用した事業化の道筋を描いてまいります。

以上の結果、当中間連結会計期間の宇宙事業の経営成績は次のとおりとなりました。

	前中間連結 会計期間 (百万円)	当中間連結 会計期間 (百万円)	前年同期比 (百万円)	増減率 (%)
営業収益				
外部顧客への営業収益	27,756	29,264	1,508	5.4%
セグメント間の内部営業収益等	3,282	2,100	△1,181	△36.0%
計	31,038	31,365	326	1.1%
営業利益	11,103	10,574	△529	△4.8%
セグメント利益(親会社株主に帰属 する中間純利益)	7,689	7,465	△223	△2.9%

4K放送終了等による放送トラポン収入の減少14億円があった一方で、衛星画像販売等によるスペースインテリジェンス事業の収益の増加9億円や、北米子会社の収益拡大及び円安の影響によるグローバル・モバイル分野の収益の増加8億円等により、営業収益は増加いたしました。しかしながら、Horizons-4事業の開始等に伴う北米子会社の営業費用の増加5億円、減価償却費の増加2億円等により、営業利益、セグメント利益は減少いたしました。

#### <メディア事業>

##### (放送・配信事業)

2024年シーズンプロ野球では、「プロ野球セット」でセ・パ12球団の公式戦全試合を生放送・配信しております。また、国内サッカー三大タイトルの1つであり、Jリーグの全60クラブが参戦する「JリーグYBCルヴァンカップ」の全試合、並びに海外サッカー「ドイツブンデスリーガ」の全試合を放送・配信しております。

リアルサービスとしては、ドイツブンデスリーガからVfBシュトゥットガルトを招聘し、「Jリーグインターナショナルシリーズ2024powered by docomo」を、公益社団法人日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)、(株)NTTドコモと共催しました。web3サービス「スカパー!投票」での「サッカー試合結果予想企画」等、リアルとバーチャルを掛け合わせた施策にも取り組んでおります。

コネクテッドTV領域での事業参入に向け、ストーリーミングスティック「スカパー!+(プラス) ネットスティック」(TVに接続するだけで、誰でも簡単に普段スマホで視聴しているコンテンツをテレビの大画面で楽しめるサービス)の開発を進めております。また、2024年10月からはスカパー!契約者を対象としたモニターに向けたサービスを開始いたします。これまで放送・配信事業で培ってきた経験を活かし、“コンテンツとの出会い”や、“観たい”を追求したサービスを提供し、衛星放送プラットフォームから放送・配信を横断したハイブリッド型プラットフォームへの進化を目指してまいります。

##### (光アライアンス事業)

光ファイバーによる地上デジタル・BSデジタル等の再送信サービスでは、着実に提供エリア拡大を進めており、2024年9月末時点における提供エリアは37都道府県にわたり、提供可能世帯数は約4,350万世帯、接続世帯数は280万世帯に達しております。また、ケーブルテレビ事業者向けパススルー方式による視聴鍵管理機能の提供サービスは、2024年9月末時点で25局の導入が決定しております。

なお、2024年7月より、FTTH事業から光アライアンス事業に名称を変更しております。

##### (開拓領域)

アニメを中心とした映像コンテンツの企画・製作投資・販売、及び周辺事業を推進すべく、2024年4月1日に連結子会社として(株)スカパー・ピクチャーズを設立いたしました。出資第1作目「チ。ー地球の運動について」のTVアニメ化が決定し、2024年10月より放送開始いたします。

当中間連結会計期間における「スカパー！」サービスの加入件数は次のとおりとなりました。

	新規	解約	純増減	累計
当期	238千件	302千件	△64千件	2,676千件
前年同期比	△14千件	1千件	△15千件	△150千件

以上の結果、当中間連結会計期間のメディア事業の経営成績は次のとおりとなりました。

	前中間連結 会計期間 (百万円)	当中間連結 会計期間 (百万円)	前年同期比 (百万円)	増減率 (%)
営業収益				
外部顧客への営業収益	32,741	31,751	△990	△3.0 %
セグメント間の内部営業収益等	1,489	1,205	△284	△19.1 %
計	34,230	32,956	△1,274	△3.7 %
営業利益	2,684	3,688	1,004	37.4 %
セグメント利益(親会社株主に帰属 する中間純利益)	1,079	2,568	1,488	137.9 %

スカパー！サービスの累計加入件数減少等の影響で視聴料・業務手数料・基本料収入が12億円減少したこと等により、営業収益は減少いたしました。4K放送終了等による通信費の減少12億円、コンテンツ費の減少4億円、設備の最適化と運用効率の向上を通じた減価償却費の削減4億円等により営業費用が23億円減少したため、営業利益は10億円の増加となりました。

また、前年同期における投資有価証券評価損8億円の影響により、セグメント利益は前年同期比15億円の増加となりました。

## (2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における資産合計は4,055億円となり、前連結会計年度末比(以下「前期比」)1億円増加いたしました。

流動資産は、Xバンド事業に関する債権回収等による売掛金の減少29億円等により、前期比34億円減少いたしました。

有形固定資産及び無形固定資産は、減価償却費により97億円減少いたしました。設備投資116億円により前期比19億円増加いたしました。

当中間連結会計期間末における負債合計は1,268億円となり、前期比66億円減少いたしました。

主な増加は前受収益29億円であり、主な減少はXバンド事業及びHorizons 3e事業に関する借入金の返済等による有利子負債の減少53億円、未払金の減少12億円、未払法人税等の減少14億円であります。

当中間連結会計期間末における純資産は2,787億円となり、前期比67億円増加いたしました。

主な増加は親会社株主に帰属する中間純利益の計上等による利益剰余金の増加66億円及び為替換算調整勘定の増加47億円であり、主な減少はその他有価証券評価差額金の減少49億円であります。

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前中間純利益と減価償却費の合計241億円に加え、売上債権の減少31億円、前受収益の増加29億円があった一方で、未払金の減少12億円及び法人税等の支払45億円等により、249億円の収入(前年同期は162億円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出123億円、(株)Space Compassへの追加出資等に係る関係会社株式の取得による支出66億円、Horizons 3e事業に関する貸付金の回収による収入21億円等により、165億円の支出(前年同期は38億円の支出)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出52億円、配当金支払による支出31億円等に

より、80億円の支出(前年同期は95億円の支出)となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前期比8億円増加し、1,151億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績につきましては、2024年4月26日公表の「2024年3月期決算短信」に記載の連結業績予想を変更していません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	50,324	50,096
売掛金	56,985	54,122
リース債権	43,132	41,530
有価証券	63,997	64,983
番組勘定	855	1,761
商品	1,686	1,522
仕掛品	77	299
貯蔵品	148	191
前渡金	4,786	3,816
短期貸付金	4,396	5,583
未収入金	510	135
その他	4,453	3,897
貸倒引当金	△84	△73
流動資産合計	231,269	227,866
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,650	8,845
機械装置及び運搬具(純額)	18,676	17,457
通信衛星設備(純額)	51,958	47,117
土地	3,102	3,623
建設仮勘定	23,954	31,449
その他(純額)	4,951	4,473
有形固定資産合計	111,293	112,966
無形固定資産		
ソフトウェア	4,546	4,730
その他	57	57
無形固定資産合計	4,603	4,788
投資その他の資産		
投資有価証券	38,944	40,622
長期貸付金	9,439	7,933
繰延税金資産	7,541	8,746
その他	2,317	2,624
投資その他の資産合計	58,243	59,927
固定資産合計	174,141	177,682
資産合計	405,411	405,549



(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	162	113
1年内償還予定の社債	-	10,000
1年内返済予定の長期借入金	10,793	11,441
未払金	9,818	8,651
未払法人税等	5,099	3,715
視聴料預り金	6,408	6,560
前受収益	21,946	24,826
賞与引当金	698	599
その他	5,272	3,487
流動負債合計	60,198	69,395
固定負債		
社債	10,000	-
長期借入金	45,016	39,064
繰延税金負債	1,416	1,850
退職給付に係る負債	6,438	6,430
資産除去債務	2,326	2,381
その他	8,032	7,710
固定負債合計	73,229	57,437
負債合計	133,428	126,833
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,129	10,172
資本剰余金	131,958	132,040
利益剰余金	126,015	132,615
自己株式	△7,924	△7,924
株主資本合計	260,178	266,904
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,963	2,026
繰延ヘッジ損益	516	272
為替換算調整勘定	2,761	7,503
退職給付に係る調整累計額	△197	△179
その他の包括利益累計額合計	10,043	9,622
非支配株主持分	1,760	2,188
純資産合計	271,982	278,715
負債純資産合計	405,411	405,549

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業収益	60,498	61,016
営業原価	33,520	32,719
営業総利益	26,977	28,296
販売費及び一般管理費	13,576	14,420
営業利益	13,401	13,876
営業外収益		
受取利息	1,106	1,076
受取配当金	19	17
為替差益	157	-
受取補償金	-	170
その他	218	133
営業外収益合計	1,501	1,398
営業外費用		
支払利息	962	835
持分法による投資損失	82	139
為替差損	-	58
その他	18	215
営業外費用合計	1,063	1,248
経常利益	13,839	14,025
特別利益		
投資有価証券売却益	-	352
特別利益合計	-	352
特別損失		
投資有価証券評価損	842	-
特別損失合計	842	-
税金等調整前中間純利益	12,997	14,378
法人税、住民税及び事業税	3,370	3,204
法人税等調整額	890	1,278
法人税等合計	4,261	4,483
中間純利益	8,735	9,895
非支配株主に帰属する中間純利益	179	179
親会社株主に帰属する中間純利益	8,555	9,715

## 中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	8,735	9,895
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	246	△4,936
繰延ヘッジ損益	667	△208
為替換算調整勘定	1,017	4,742
退職給付に係る調整額	21	17
持分法適用会社に対する持分相当額	28	△14
その他の包括利益合計	1,981	△399
中間包括利益	10,716	9,496
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	10,493	9,295
非支配株主に係る中間包括利益	222	201

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	12,997	14,378
減価償却費	9,900	9,703
受取利息及び受取配当金	△1,125	△1,094
支払利息	962	835
持分法による投資損益(△は益)	82	139
投資有価証券評価損益(△は益)	842	-
売上債権の増減額(△は増加)	4,769	3,082
番組勘定の増減額(△は増加)	△587	△905
棚卸資産の増減額(△は増加)	△465	△100
前渡金の増減額(△は増加)	△4,994	969
未払金の増減額(△は減少)	△4,432	△1,171
前受収益の増減額(△は減少)	2,612	2,874
リース債権の増減額(△は増加)	1,504	1,602
その他	△1,826	△1,079
小計	20,239	29,233
利息及び配当金の受取額	1,105	1,183
利息の支払額	△952	△940
法人税等の支払額	△4,209	△4,526
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,183	24,949
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,875	△11,084
無形固定資産の取得による支出	△694	△1,217
投資有価証券の取得による支出	△75	△133
投資有価証券の売却及び償還による収入	-	452
貸付金の回収による収入	1,846	2,083
関係会社株式の取得による支出	-	△6,649
その他	1	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,797	△16,546
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△4,813	△5,162
自己株式の取得による支出	△1,415	-
配当金の支払額	△3,192	△3,114
非支配株主への配当金の支払額	△92	△113
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	-	394
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,512	△7,995
現金及び現金同等物に係る換算差額	633	350
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,506	758
現金及び現金同等物の期首残高	107,908	114,321
現金及び現金同等物の中間期末残高	111,415	115,080

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前中間連結会計期間(自2023年4月1日 至2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	宇宙事業	メディア事業	合計	調整額 (注1)	中間連結損益 計算書計上額 (注2)
営業収益					
外部顧客への営業収益	27,756	32,741	60,498	—	60,498
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	3,282	1,489	4,771	△4,771	—
計	31,038	34,230	65,269	△4,771	60,498
営業利益	11,103	2,684	13,787	△385	13,401
セグメント利益(親会社株主に 帰属する中間純利益)	7,689	1,079	8,768	△213	8,555

(注1) セグメント利益の調整額△213百万円には、セグメント間取引消去△0百万円と、各報告セグメントに配分していない全社損益(全社収益と全社費用の純額)△212百万円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費、営業外損益及び税金費用であります。

(注2) セグメント利益は、中間連結損益計算書の親会社株主に帰属する中間純利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当中間連結会計期間(自2024年4月1日 至2024年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	宇宙事業	メディア事業	合計	調整額 (注1)	中間連結損益 計算書計上額 (注2)
営業収益					
外部顧客への営業収益	29,264	31,751	61,016	—	61,016
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	2,100	1,205	3,305	△3,305	—
計	31,365	32,956	64,321	△3,305	61,016
営業利益	10,574	3,688	14,263	△386	13,876
セグメント利益(親会社株主に に帰属する中間純利益)	7,465	2,568	10,034	△318	9,715

(注1) セグメント利益の調整額△318百万円には、セグメント間取引消去△75百万円と、各報告セグメントに配分していない全社損益(全社収益と全社費用の純額)△242百万円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費、営業外損益及び税金費用であります。

(注2) セグメント利益は、中間連結損益計算書の親会社株主に帰属する中間純利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。